

おおみそかには八坂神社にお参りする人も多いです。八坂神社では「おけら火」というものが燃やされていて、みんなは火縄ひなわを買って、先にこの火を移して家までくるくる回しながら帰ります。

くるくる回すことによって、いつも新鮮な酸素が送り込まれることになり、火が消えないのです。

大切に持ち帰った火で、神棚かみだなのお灯明とうみょうをともし、お正月の湯をわかつて大福茶をいれ、御雑煮おぞうにをたくというのが昔ながらの京の町なかのならわしです。

ではそもそもおけら火とは何なのでしょう。おけらというのには、二つの意味があります。

一つはコオロギの仲間。秋の野原にいる「けら」というかわいい昆虫こんちゅうです。子どもたちはこれを捕つかまえると、「けらちゃんけらちゃん、おけらちゃん。おまえのおわんはどれだけじゃ？」と言いながらおなかの横をそっと押おさえます。すると、おけらは「これだけ！」とばかり、前脚まえあしでおわんの大きさを示すのです。とてもかわいいですよ。

もうひとつが今日のおけらです。キク科の植物で、昔から漢方薬として知られています。この植物を干して刻んだものを火にくすべると、その煙で疫神えきじんが逃にげていくともいわれ、このことよって八坂神社でおけらまいりがおこなわれるようになったわけです。おけら火の中には「おけら」という植物をきざんだものがくすべられていたのです。

実は、おけらは「おとそ」の中にも入っています。おとそというのは、お正月に飲む酒と言う意味ではなく、本来は屠蘇散とそさん、という漢方薬を漬つけ込んだお酒あるいはみりんです。これにもみんなの願いがこめられていたわけ。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

（ ） 八坂神社 （ ） おぞうに

（ ） おけらまいり （ ） けら

② おけらまいりはどこの行事ですか？

（ ）

③ おけら火をたけば逃げるといいうものは何？

（ ）

④ おけら火は家で何に使われますか？三つ十点。

（ ）

（ ）

（ ）

⑤ おけらは何科ですか？

（ ） バラ科 （ ） キク科 （ ） マメ科

⑥ 「けら」とは何ですか？

（ ）

⑦ おとそについて書き抜きましょう。

（ ）

⑧ 疫神を辞書で調べてみましょう。

（ ）

（ ）

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） おけら火でふろをたかないといけない。

（ ） おとそのベースはみりんでもいい。

（ ） おけらは鳥である。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

できばえは？

